

ミカン生育情報

第 7 報
千葉県農林水産部
令和 2 年 12 月号

11 月の平均気温が高く、普通温州の成熟が進んでいます。
完全着色した果実から減酸を確認し、順次収穫しましょう！

令和 2 年 11 月の気象

令和 2 年 11 月の半旬別気象を表 1 に示した。平均気温は第 3 半旬を除いて平年より高かった。月平均気温は 14.8℃で、平年より 1.6℃、前年より 1.1℃高かった。

降水量は第 1 半旬は平年並みで、それ以外は平年より少なく推移した。月合計は 33mm で平年の 22%、昨年 13%であった。

日照時間は第 1、第 3、第 4 半旬は平年より多く、第 2、第 6 半旬は平年より少なく、第 4 半旬は平年並みであった。月合計は 159 時間で平年の 110%、前年の 99%であった。

表 1 令和 2 年 11 月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	15.9	15.4	15.5	25	25	0	30	25	35
2	15.6	14.6	14.8	0	34	0	17	25	33
3	12.8	14.0	15.4	0	18	33	34	24	27
4	18.4	12.3	14.7	2	23	34	33	24	36
5	14.4	11.7	14.1	6	22	158	24	24	12
6	11.9	11.2	7.8	1	26	28	21	25	19
平均/計	14.8	13.2	13.7	33	148	252	159	145	161

2 果実及び樹の生育

12 月 2 日における調査園の果実生育状況を表 2 に示した。以下、3 地区の平均を平年及び前年と比較すると、横径は「大津 4 号」が 7.5cm でほぼ平年並み、前年の 97%であった。「青島温州」が 7.4cm で平年並み、前年の 107%であった。縦径は「大津 4 号」、「青島温州」共に 5.1cm で、平年の 102%、前年の 109%であった。果形指数は「大津 4 号」、「青島温州」共に 1.5 で、「大津 4 号」は平年並み、前年より扁平であった。「青島温州」は平年及び前年並みだった。

表 2 果実の生育（令和 2 年 12 月 2 日）

品 種	調査地	横 径(cm)			縦 径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
大津4号	三芳地区	7.3	7.4	6.7	5.1	5.0	4.7	1.4	1.5	1.4
	千倉地区	7.6	7.5	8.3	5.1	4.8	4.7	1.5	1.6	1.8
	暖地園研	7.7	7.8	8.1	5.1	5.1	4.6	1.5	1.5	1.8
	平 均	7.5	7.6	7.7	5.1	5.0	4.7	1.5	1.5	1.7
青島温州	三芳地区	7.3	7.4	6.6	5.1	5.0	4.7	1.4	1.5	1.4
	千倉地区	7.3	7.3	6.9	5.0	4.9	4.8	1.5	1.5	1.4
	暖地園研	7.6	7.6	7.3	5.2	5.0	4.7	1.5	1.5	1.6
	平 均	7.4	7.4	6.9	5.1	5.0	4.7	1.5	1.5	1.5

注 1) 各地点の各品種の値は 40 果の平均とした。ただし、鳥害、落果等により調査果実を変更した

2) 果形指数は、横径/縦径とした

普通温州の果実品質

12月2日現在の果実品質を表3に示した。

着色程度は「大津4号」が3地区平均で8.7であった。三芳地区及び暖地園研は平年より高く、千倉地区では平年並みであった。また、いずれも着色が遅れた前年より高かった。「青島温州」では7.8であった。暖地園研は平年より高く、三芳地区及び千倉地区ではほぼ平年並みであった。また、いずれも着色が遅れた前年より高かった。

糖度は「大津4号」が3地区平均で10.2であった。暖地園研は平年より高く、三芳地区及び千倉地区ではほぼ平年並みであった。また、いずれも前年より高かった。「青島温州」では9.4であった。三芳地区及び暖地園研は平年より高く、千倉地区では平年より低かった。また、いずれも前年より高かった。

酸度は、3地区平均で「大津4号」が0.77、「青島温州」が0.82であった。両品種共に、全ての調査地において平年より低かった。

甘味比は3地区平均で「大津4号」が13.4、「青島温州」が11.7であった。両品種共に、全ての調査地においてほぼ平年及び前年並みか、高い傾向がみられた。

果肉歩合は3地区平均で「大津4号」が75.5、「青島温州」が74.6であった。両品種共に、全ての調査地においてほぼ平年及び前年並みであった。

本年度は11月の降水量が少なく、平均気温は高かったので成熟が進んでいる。現時点での食味は「大津4号」は普通～やや良好、「青島温州」は普通～やや不良である。浮皮は散見される程度であった。

表3 普通温州「大津4号」及び「青島温州」の果実品質（令和2年12月2日）

品 種	調査地	着色程度 (0~10)			糖 度 (%)			酸 度 (%)			甘味比			果肉歩合 (%)		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
大津4号	三芳地区	8.3	7.9	6.7	10.2	10.0	9.5	0.78	0.85	0.83	13.1	12.0	11.6	75.9	75.4	77.0
	千倉地区	8.5	8.5	6.7	10.0	10.1	8.9	0.82	0.93	0.85	12.3	11.0	10.6	75.0	75.7	76.5
	暖地園研	9.3	8.0	7.4	10.5	9.9	9.3	0.72	0.86	0.77	14.8	11.8	12.0	75.6	74.9	75.9
	平 均	8.7	8.1	6.9	10.2	10.0	9.2	0.77	0.88	0.82	13.4	11.6	11.4	75.5	75.4	76.5
青島温州	三芳地区	7.3	7.3	5.6	9.6	9.0	8.4	0.88	0.89	0.86	11.0	10.2	9.9	75.3	74.4	75.9
	千倉地区	7.8	7.9	6.8	8.9	9.6	8.6	0.85	0.91	0.85	10.5	10.8	10.2	74.7	74.3	73.1
	暖地園研	8.3	7.5	5.9	9.8	9.5	8.8	0.73	0.87	0.79	13.6	11.0	11.1	73.9	75.6	75.7
	平 均	7.8	7.6	6.1	9.4	9.4	8.6	0.82	0.89	0.83	11.7	10.6	10.4	74.6	74.8	74.9

平年値は平成11～令和元年の平均値

甘味比＝糖度／酸度

果肉歩合＝（果肉重／1果重）×100

12月～3月の栽培管理

(1) 普通温州の収穫・予措

普通温州では果実の着色が8分程度の場合、貯蔵中にはほぼ完全着色するが濃厚な橙色とはならず、初期の減量が完全着色果に比べ大きい。また、完全着色果に比べ糖含量が低いので、高品質の果実として出荷できない。そのため、まずは全体の約半数の果実（完全着色果のみ）を収穫する。さらにそこから10日後に、8分着色以上のものを収穫する。

収穫時について果面の傷が腐敗の原因となることが多いので、必ず手袋をはめ、先の丸い採果鋏を用いる。採取容器は肩から掛ける袋か、かごを用いる。

収穫直後の果実は果皮の水分が多いので、コンテナに果実を7分目ほど入れ、風通しのいい日陰に10～15日置く予措を行うと、果実の重量が3%程度減少して果皮の活性が抑制され、貯蔵中における果汁成分の消耗が少なくなる効果がある。また、果皮がしなやかになり、選果や出荷時の傷果の発生予防になる。

(2) 病害虫の防除

青かび病・緑かび病の予防には、収穫前にベフラン液剤25（2000倍液）を散布する。

ミカンハダニ、カイガラムシの防除は2月下旬～3月上旬にマシン油乳剤（97%）60倍液を散布する。厳寒期を避け、晴天が続く暖かい日に実施する。また、樹勢の弱い樹や台風の被害で著しく落葉した樹では、散布を見合わせる。

※農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

(3) 防寒対策

気象情報に注意し、適切な防寒・低温対策をとる。樹体を強い寒風から守るため、防風垣や防風ネットを設置する。斜面下部など冷気のたまりやすい場所の防風垣は下枝を切り冷気を逃がす。

また、果実は寒害で食味が低下するため、収穫適期を迎えた果実は寒さを受ける前に収穫する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》 千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961 ※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>